

聖書

聖書は、創造者なる神の「知恵、知識、真理の宝庫」

「直ぐな心で（ヨシエル）」、聖書に向かう者は多くの宝を見つけ、何よりも神に出会う

詩篇119：7、エペソ人6：5「真心から」、マタイ13：44-46

しかし、深く知ること「知識」をどれほど積んでも、信じ委ねる「信仰」には至らない

平和

集団的自衛権

「同盟国が攻撃されたとき、一緒に反撃する権利」

2014年7月、安倍政権、「集団的自衛権」の行使を認めることを閣議決定

2015年2月、来年（2016年）夏の参院選のあと、「国民投票」実施を示唆

平和憲法九条

「平和のために戦争をすべきである」というこの世の見解とは対照的な

戦争放棄を謳った、世界に類を見ないユニークな「平和憲法」

日本の現状

5月3日の「憲法記念日」、各党、「憲法改正」の動きに対し声明を発表

自民党：憲法改正案路線

共産党：「安倍政権は憲法九条を踏み破り、日本を海外で戦争する国に作り替えるための戦争立法を国会に提出、力づくで通過させようとしている」と非難

⇒憲法制定以来、大きな岐路に立たされている日本

来年の国民投票に向けて、日本国民、深刻な選択に迫られている

5月1日、発表されたNHKの世論調査結果

2013年から今年にかけて、同じ時期に行われた三回の結果の比較、世論の動向を表示

1. 今の憲法を改正する必要の是非

「改正は必要」は28%、

「改正は不必要」は25%

「どちらともいえない」は43%

NHKの2013年と2014年のそれぞれ同じ時期に行った調査との比較

2013年：「改正は必要」が「改正は不必要」を大きく上回った

2014年：今年同様、ほぼ同じ割合

2. 憲法九条について

「改正は必要」は22%

「改正は不必要」は38%

「どちらともいえない」は34%

NHKの2013年と2014年のそれぞれ同じ時期に行った調査との比較

2013年：「憲法九条の改正は必要」と「改正は不必要」は、ほぼ同じ割合

2014年：「必要ない」が「必要」を上回り、今年もほぼ同じ結果

⇒社会、国民の傾向は「今の憲法維持」、「憲法九条が示す平和主義遵守」を示唆

→ **6** 究極的に立証される神のすべての言葉

聖書の語る「平和」

平和の定義：戦争がないこと、穏やか、安全なこと

広義には「繁栄」や「幸福、健康な状態」も含まれる

「シャローム」 ‘שָׁלוֹם’：ヘブル語（旧約）聖書の「平和」は広義

「人々」、「諸国民」、「神」との関係のすべてに適用

創世記34：21、列王記第一5：12、詩篇85：8

聖書

「平和」は**神からの賜物** レビ記26：6、ヨハネ14：27

‘εἰρήνη (エイレネ)’：新約時代、「平和、平安」に使用されたギリシャ語
「休息、静穏」に言及

新約聖書での「平和」への鍵となる出来事：イエス・キリストのご降誕 ルカ2：14

メシヤ「救い主」は「**平和の君**」、「**平和の主**」と呼ばれた イザヤ書9：6、テサロニケ人第二3：16

全聖書を通して、平和追求は神の御旨 詩篇34：14

平和を望まない人々とも平和を保つように最大限の努力をすべき ローマ人12：18

神の平和：

キリスト、弟子たちに、ご自身がこの世に勝利されたという**真理に基づく「平安」**を与えられた
ヨハネ16：33、イザヤ書53：5

⇒人が自らの欲望「肉」に従うのではなく、神の霊「御霊」に従う歩みをするとき、
人生に真の生命と平安がもたらされる ローマ人8：6

キリストの甦り後、使徒ペテロ、異邦人コルネリオに

「イエス・キリストを通して**平和**が宣べ伝えられた」ことを説き明かした 使徒の働き10：34-43
使徒パウロ、キリストを通しての**平和**によって、全諸国民が一つにされると説いた

エペソ人2：17-19

この**平和**、キリストのこの世の罪のための十字架上で**贖いの死**によって初めて、もたらされた

「平和、平安」に関する聖句

1. ヨハネ14：27「わたしは、あなたがたに**平安**を残します。わたしは、あなたがたにわたしの**平安**を与えます。わたしがあなたがたに与えるのは、世が与えるのとは**違います**。あなたがたは心を騒がしてはなりません。恐れてはなりません」
2. ヨハネ16：33「…あなたがたがわたしにあって**平安**を持つためです。あなたがたは、世にあっては**艱難**があります。しかし、**勇敢**でありなさい。わたしは**すでに世に勝った**のです。』」
3. イザヤ書53：5「しかし、**彼は、わたしたちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために碎かれた**。彼への懲らしめが私たちに**平安**をもたらし、彼の打ち傷によって、**私たちはいやされた**」
4. ローマ人8：6「**肉の思いは死であり、御霊による思いは、いのちと平安です**」

欺きの「平和」に対する警告

^{あざむ}欺く者、ひそかに悪を計画しながら、平和の言葉を語る 詩篇55：12-14

「反キリスト」、正体を現すとき、突然、平和条約を破棄 ダニエル書9：27

背信が国中に蔓延していた預言者エレミヤの時代、偽預言者たち、神の御旨とは無縁の偽りの「平和」を宣言 エレミヤ書6：14

ソロモンの時代の平和から学ぶ教訓

ソロモンが達成した「平和の時代」 列王記第一9章

「**倉庫の町々**」、「**戦車のための町々**、**騎兵のための町々**」(19節)：

ソロモン、圧倒的な軍事力を維持することで、国を防御することを試みた

⇒ソロモンの平和主義の基盤は、**軍事力**

近隣諸国、軍事産業が盛んで、強力な国を侵略しようとはしなかった

⇨ソロモンの時代の平和は、**軍事力**、民への**重税**、**苦役**で支えられた「偽りの平和」

エキュメニズム(世界教会主義)の幻想

かつて、キリスト教会内の教派の統一の意で「世界教会主義」と呼ばれた「エキュメニズム」、最近では、「世界統一宗教主義」、全宗教の統一の意で使用

聖書

キリスト教

1. 新約聖書はヘブル語（旧約）聖書の「成就」の記録
2. 「神の言葉」、旧新約両聖書の明確な証^{あかし}と、イエス・キリストがご自身について証言されたお言葉と、キリストの生涯、死、甦りを目撃した者たちの証しとに**基づいて**樹立された信仰—
—ナザレ人イエスを、人を罪から解放する「救い主」と信じる信仰—
 - ①真の神への唯一の道を主張、排他的
 - ②全人類の救いを願う神の愛は普遍的、すべての人に「無条件の救いの道」提供で包括的
3. 人間の観念、信心が生み出した「宗教」ではなく、神ご自身が提供された「救いの道」

⇒キリスト信仰（聖書に基づくキリスト教）が世界統一宗教の中に含まれることはあり得ない

1. **世界平和を、人の努力によって実現することはできない**
2. **キリストが再臨されないかぎり、平和は実現しない**

⇒神がこの世に「平和」をもたらす手段が「福音」

真の平和を求めるキリスト者、多くの人たちの魂の救いのため、祈り求めなければならない

キリストの教えと警告

キリスト、神の御旨が地でも行われることを願うようにと、教えられた マタイ6：9-13

⇒キリストが真の平和をもたらされるまでの間、この世の人々は平和を求め、平和交渉に奔走するかもしれないが、人々が生み出す平和は一時的で、真の解決をもたらさない

一見、矛盾と思われるキリストのお言葉

「あなたがたは、**地に平和を与えるためにわたしが来たと思っているのですか。そうではありません…むしろ、分裂です…**」（ルカ12：51-53、下線付加）

キリスト、**家族間の一致**に言及された

人は生まれると地上の両親の子となるが、キリストを受け入れると、「神の家族の一員」、キリストの共同相続人になる

このことが、家族間に分裂を引き起こす

世界平和のための努力

キリスト者だけでなく、世界の指導者たちをはじめ、平和を求める者たちが、世界平和のためにできる限りの努力をすることは、神の御旨

→ **5** 預言の信憑性

エルサレムのための祈り

エルサレムを聖地とみなす宗教間の対立は収まる気配がないが、エルサレムの平和のために祈ることは神の御旨 詩篇122：6

エルサレムに対する神のご計画や、再臨のキリストについての数知れない預言の信憑性は、過去の預言が詳細に至るまで100%成就したことから、疑う余地がない

未信者や無神論者の祈りを、神は聞かれるだろうか？

生まれつき目の見えない人（ヨハネ9：32）、三十八年間患っていた人（ヨハネ5：9）の癒し
二人とも、キリストに出会うまでは、キリストを知らなかった人たち

⇒ **神の御旨にかなった祈り、願いは聞かれる**

この人たちは、神の御旨のゆえに癒された

この原則はおそらく、キリストを信じていない人たちだれにでも適用できる

聖書

エレミヤ書35章

レカブ人からの教訓

預言者エレミヤ、主の指示に従ってレカブ人に「ぶどう酒」を飲ませようとした彼らは「先祖レカブの子ヨナダブ」が民に命じたことを厳守することを理由にきっぱり辞退定住生活ではなく、簡素な遊牧民生活をしていたレカブ人、当時は、バビロンのユダ攻撃を避け、最後の^{とりで}砦エルサレムに住んでいた

ケニ人（レカブ人）の指導者ヨナダブ、自分の民に、幾つかの規則を与えた

- ①家を建ててはならない、
- ②移動できるようにいつも天幕に住まなければならない
- ③ぶどうを育ててはならない
- ④どんな種類の穀物をも栽培してはならない

レカブ人、ヨナダブ以降三百年間、指示に従い、この世の「もの」に執着しない生き方をした「モーセの十戒」の五つ目の掟、一自分勝手な生き方ではなく、先祖の正しい指示に従順であることは主の御旨— になかったレカブ人の生き方を、主は受け入れ、祝福された

神が未信者の祈りを聞き、答えられた例

1. ヨナ書3：5-10
2. 創世記21：14-19
3. 列王記第一21：27-29
4. マルコ7：24-30

キリストが、異邦人の女の必死な訴えに心動かされ、応答された例

- : 26 「この女…自分の娘から悪霊を追い出してくださいのようにイエスに願ひ続けた」：
異邦人、「汚れている」とみなされ、ユダヤ人宗教組織から嫌われた
当時の社会では、何の身分もない女の必死な訴え
- : 27 「…子どもたちのパンを取り上げて、小犬に投げてやるのはよくないことです」：
希望をほのめかされたキリストのお言葉を、女は見逃さず、食い下がった
- : 28 「…主よ…でも、食卓の下の小犬でも、子どもたちのパンくずをいただきます」：
女、キリストご自身の言葉を、自分の哀願の基いとして、キリストの憐れみに訴えた

5. 使徒の働き10章

神の言葉「もし、あなたがたが心を尽くしてわたしを捜し求めるなら、わたしを見つけるだろう」（エレミヤ書29：13）、信心深い未信者、異邦人コルネリオに適用された

信者、未信者を問わず、だれにでも与えられる祝福

1. 詩篇145：9
2. マタイ5：45
3. 使徒の働き14：17
4. ローマ人2：4

神が被造物すべてに祝福を与えてくださることを示唆



身近に、人生に、未来に対し、不安、恐れをいだいている人たちは多い

⇒神との平和、一神との正しい関係にあること— が、恐れからの唯一の解決策

詩篇は、「神を恐れる者」への大いなる祝福に満ちている

詩篇25：14、33：18、34：7、：9、85：9、103：11、：13、：17、111：5、145：19、147：11ほか